

若松 5年ぶりの東山盆踊り

来月1日 民報夕べで開幕

「大熊町民の夕べ」復活へ 4日まで催し多彩に

5年ぶりの開催となる会津若松市東山温泉の東山盆踊りは8月1日、「福島民報の夕べ」で開幕する。4日までの連夜、踊りの輪を広げる。各日とも午後7時30分ごろから同9時15分ごろまで一般参加者が踊り流す。3日は、東京電力福島第1原発事故の影響で市内に避難した大熊町民と市民が絆を強める「大熊町民の夕べ」が復活する。

東山盆踊り実行委員会の主催。温泉街の湯川の上に組む福島民報社寄贈のやぐらを囲んで行う。18日までに4日間の詳細が固まった。



湯川の上で組み立てが進む東山盆踊りのやぐら

デルが駆け付け、盛り上げる。会場では、昭和30年代の東山盆踊りの様子を紹介する「民報ニュース」の映像を放映する。

2日は「東山芸妓とコンパニオンの夕べ」、3日は「大熊町民の夕べと東山ポン踊りナイト」、最終日の4日は「会津若松市民盆踊り」と銘打ち、各日とも一般参加の盆踊りや抽選会、子ども盆踊りなどを繰り広げる。参加は無料で、誰でも自由に踊りを楽しめる。連日、午後4時ごろから露店やキッチンカー、マルシェが並ぶ他、同6時30分から振る舞い酒がある。

会場までは会津武家屋敷と東山共同駐車場からのシヤトルバスを利用できる。問い合わせは東山温泉観光協会 電話0242(27)7051へ。